

秋

木々朗

坂多き蟬時雨なる道歩く
連れ立ちて茸狩りなど試しみる
すいすいと緑樹の甲を赤とんぼ
秋果実九谷の皿に旬を盛る
茸飯五種のきのこを炊きにけり

雑詠 葉月

細田安治

秋梅雨か 雨ない日なし 葉月夏
夏終わる 深川八幡 祭りあと
処暑まじか 油蟬から カナカナへ
今日も雨 傘持ち毎日 通勤者
連合渡御 何故か町なし 大神輿
五十五番 しにばんはずし 五十三基

